



地域再生 協議会だより

百合が丘 2 - 29 - 6 (老人憩いの家) 59 - 9356 (火・金午前) isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp

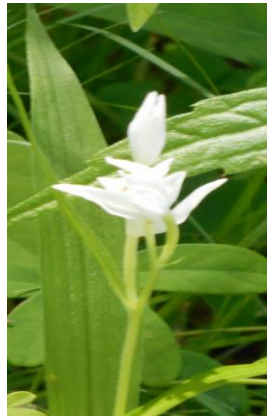
プログラミング体験講座

一色小で 6 月実施

IT クラブと連携、継続講座も

地域再生協議会は湘南二宮 IT クラブ (片岡健二理事長) と連携し、一色小学校生を対象にプログラミング体験講座を開く。一色小のコミュニティースクール活動の一環として計画し、6 月中に 2 回実施する。受講生にはレベルを上げた継続講座の準備を進めている。文部科学省は 2020 年からコンピュータプログラミングを授業に取り入れる方針を決めており、こうした流れを地域ぐるみで先取りする。

プログラミングはコンピュータのソフトウェアをつくること。高度情報社会への移行に伴い、この分野の人材育成が国民的課題になり、義務教育段階からの導入が決まっている。今回の計画は、小学生向けのプログラミング講座の体制を整えつつある IT クラブと再生協議会、一色小学校が話し合い、一色小のパソコンルームを使って実施する。



絶滅危惧種のキンラン

クゲヌマラン

高学年向けは 6 月 11 日 (月)、低学年向けは同 20 日 (水) に開催。学校を通じて各 35 名の受講希望者を募集し、通常授業の終了後に行う。講習費は 1 人 500 円。
(裏面 * 1 に続く)

山野草を愛でる

——新種・珍種見つける

一色の野山が花の季節を迎えた GW の最中、3 度にわたる山野草観察会が開かれた。4 月 28 日 (土)、29 日 (日) は一色小友情の山、5 月 4 日 (金) は一色の台山周辺。長らく二宮の山野草を調べ続けている山本絢子さん、和田佳乃さんが講師をつとめた。再生協議会が観察会を主催するのは初めてで、3 日間で約 90 人が参加した。



珍しい野草があった！

友情の山では、絶滅が心配されている 30 株近いキンランの開花を確認し、黄色い小花の塊りを見つけるたび歓声が上がった。当初ギンランと見られていた白小花をよく調べると、クゲヌマランであることがわかった。山本さんは、「この種類を二宮で見たのは初めて」と驚きの声。「吾妻山などではなくなっている種類がここにはある。自然を大切にしながら手入れをしているせい」（和田さん）。「学校という特別の環境だから生態系が守られている」（山本さん）というのが 2 人の感想だ。



孵化したばかりのジャコウアゲハ

一色の里山観察には、30 名超が参加した。一色地区以外からの方も多く、講師が野草の名を告げるたびにメモ帳に記入していた。樹木を含め植物の種類も様々なため、散策の列は何度も一時停止。ここでも、二宮では珍しいという種類や孵化したばかりのアゲハ蝶に出会うなど、里山の豊かな自然を存分に味わい、気分よく半日を過ごした。

*** 1** 再生協議会は講習の推進全体を、IT クラブは教材の提供、講師派遣などを担当する。講座では、国内で開発されたビジュアルプログラミング言語(ビスケット)を使う。子供たちの自由な発想、アイデアを生かしてプログラムをつくり、コンピュータの基本部分を体験する。IT クラブは、総務省が計画している地域におけるプログラミング研修事業への参加を準備中。これが確定した段階では、再生協議会の地域こうりゅうルーム（一色小）を活用し、小学生向けの講座を継続的に開くことを検討している。

当面のイベント予定

- ・ 古民家コンサート5月19日（土）古民家ふるさとの家 10時～里山散策 11時半～コンサート
- ・ 「地域再生への期待と注文」5月26日（土）村田邦子町長 10時～地域こうりゅうルーム
- ・ 田植え体験会 5月26日（土）県住宅供給公社水田（小竹）
- ・ 邦楽とお茶の会 5月27日（日）古民家ふるさとの家 13時～呈茶 14時～邦楽演奏
- ・ 「団地再編の中間報告」6月9日（土）猪股篤雄・県住宅供給公社理事長
14時～ 一色小地域こうりゅうルーム
- ・ 「君たちはどう生きるか」を私はこう読んだ——「コペル君」と私が出会った子どもたち
原 道子教育委員（元一色小校長）7月7日（土） 10時～地域こうりゅうルーム

そば打ち—7日で申込み満杯



一色のベテランの手つきをじっと見る

子ども自然塾—「遊育」が大事



子どもの「遊び」を語る三宅代表